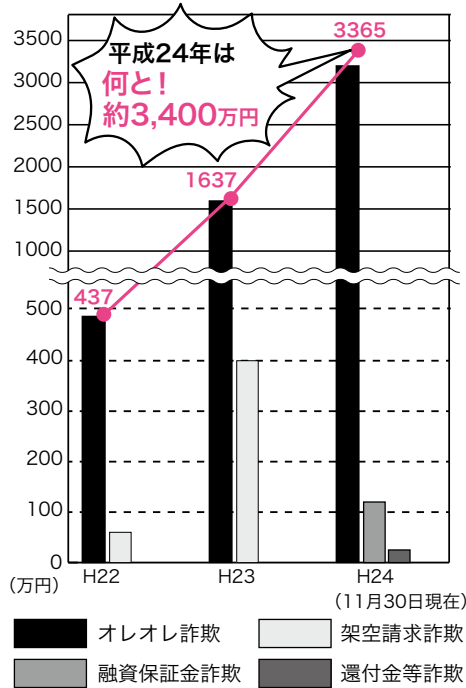


「防犯対策」してますか？

小さな“スキ”が 大きな被害を招く

市内の振り込み詐欺被害金額(表1)



全国的に増加傾向にある、振り込み詐欺被害。詐欺の手法に引っかけられてしまった方は、振り込み詐欺が横行していることを知りながらも、振り込み詐欺に狙われたときに平常心を失い、言われたまま振り込んでしまったという状況がほとんどです。

平成24年の市内の振り込み詐欺被害額は、3千万円を超えています(表1)。これは、平成23年の約2倍、平成22年の約8倍となっています。



振り込み詐欺手口の一例

オレオレ詐欺

息子などを名乗り「借金の返済をしなければ」などと言って現金を振り込ませる。

架空請求詐欺

手紙や電子メールで、使った覚えのない有料サイトなどの料金を請求し、「期限までに払わないと裁判になる」と脅す。

融資保証金詐欺

「融資をする」とダイレクトメールなどを送付し、申し込んできた者に保証金が必要と言

還付金等詐欺

い、現金を口座に振り込ませる。市役所職員などを名乗って「税金の還付金が出る」などと言

被害者の体験談

こうして私は詐欺に遭った



「甘い言葉に要注意」

FAXで送られてきたのは、「低金利、無担保、即日融資」をうたったチラシ。お金を借りようと電話をしたら、「保証金が必要」と言われたので、言われるまま銀行口座に120万円振り込んでしまったよ。もちろん、一銭ももらってないよ。



「市役所」と言われ信頼してしまった

「医療費の還付金があります」と市役所職員を名乗る男に言われ、指示どおりATMを操作し、25万円振り込んでしまったんだ。市役所と言われて、信じてしまったんだね。



「息子のピンチに気が動転」

息子を名乗る男から「携帯電話を落としたので番号が変わった」とうその電話があったんだ。次の日、必死な声で「女性を妊娠させてしまった。高額な中絶費と示談金が必要だ」と電話があり、気が動転してしまった私は、息子に確認もしないままATMで200万円振り込んでしまったよ。

被害に遭わないために

まずは「落ち着き」「相談」「確認」

1 合言葉は「○○○」

不審な電話があったら、家族かどうかを確認するために、合言葉を決めておく。

2 留守番電話を活用

留守番電話にセットしておき、相手を確認してから電話に出る。

3 犯人の言葉に耳を傾けない

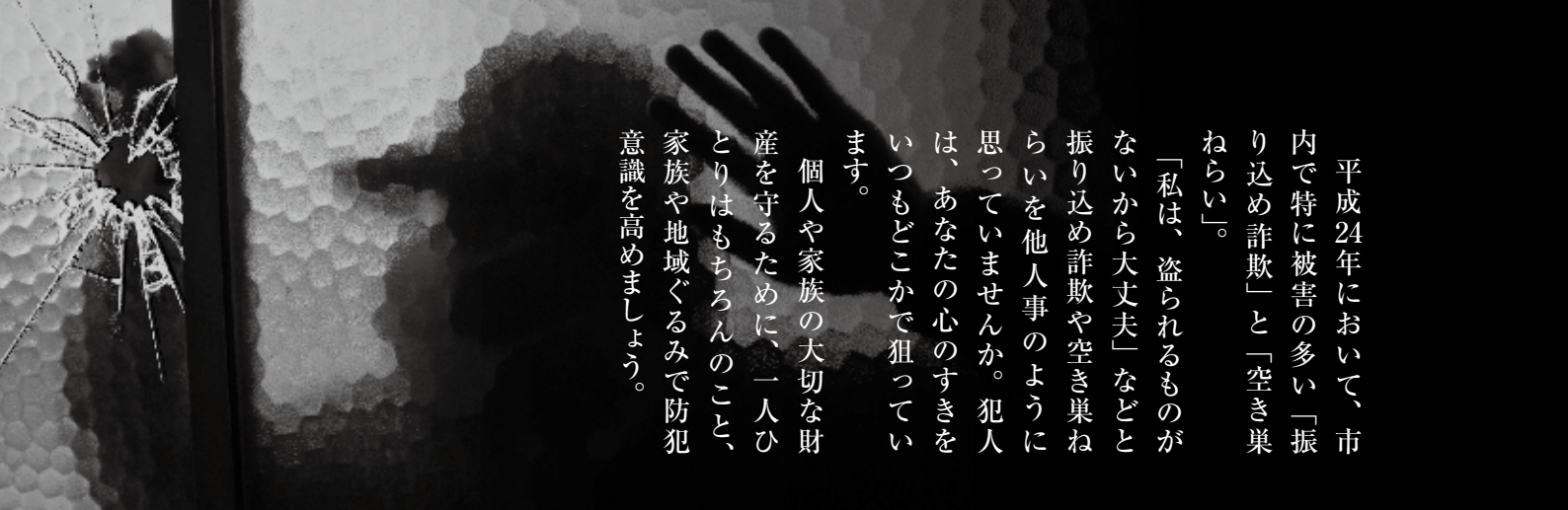
犯人は言葉巧みに誘惑するので、不信に感じたらずぐに電話を切る。

4 周りの人にすぐ相談

すぐに振り込まない(渡さない)で、ささいなことでも家族が警察に相談する。

5 事実かどうか確認

本人やその家族、関係者と連絡を取り、事実確認をする。



平成24年において、市内で特に被害の多い「振り込め詐欺」と「空き巣ねらい」。

「私は、盗られるものがないから大丈夫」などと振り込め詐欺や空き巣ねらいを他人事のように思っています。犯人は、あなたの心のすきをいつでもどこかで狙っています。

個人や家族の大切な財産を守るために、一人ひとりはもちろんのこと、家族や地域ぐるみで防犯意識を高めましょう。



空き巣ねらい

市内では、平成24年11月末現在、留守宅を狙った泥棒（空き巣ねらい）が60件以上発生しており、前年に比べ倍増しています（表2）。

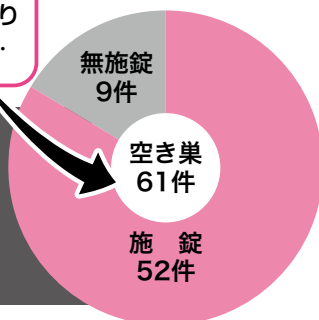
「近所に回覧板を出しに行くだけだから」などと思う方もい

平成24年11月30日現在の市内の犯罪発生件数(表2)

犯罪内容	強盗	侵入窃盗			非侵入窃盗							合計
		空き巣	忍び込み	その他	ひったくり	自動車盗	オートバイ盗	自転車盗	車上ねらい	部品ねらい	万引き	
本年	0	61	7	31	4	21	29	123	61	67	61	465
前年	1	26	31	40	2	23	50	138	103	93	71	578
増減	-1	35	-24	-9	2	-2	-21	-15	-42	-26	-10	-113

(行田署調べ)

前年と比べて全体的に犯罪件数が減少する中、約2倍も増加した空き巣ねらい。「戸締まりはしっかりしているから大丈夫」と思っても…



るかもしれませんが、その数分間で犯人は犯行に及ぶのです。また、市内の被害状況を見ても、窓やドアに鍵を掛けていても、空き巣に入られてしまうことが多いようです（表3）。鍵破りの手口はさまざまに変化しています。鍵を掛けているからといって、決して安心はできません。

鍵を掛けても侵入される!?
犯人の侵入手口は
主に「ガラス破り」

空き巣発生件数のうち施錠・無施錠(表3)

被害に遭わないために

「自主防犯」と「地域ぐるみの防犯」で二重の安心

1 まずは戸締まり

長時間の外出や就寝前はもちろん、近所での用足しにも戸締まりを。浴室やトイレの窓、格子のある窓などにも鍵を掛ける。

2 侵入口は主に「窓」

きちんと戸締まりをしていても、ガラスを破られてしまえば元も子もない。防犯ガラスや防犯フィルムでガラスを強化し、補助錠で侵入の時間を稼ぐなど二重、三重の防犯を。

3 「死角」「足場」を作らない

一見、防犯に役立つような高い塀や生け垣も、犯人にとっては身を隠す絶好の死角に。窓の下にある室外機やポリバケツなどは足場に早変わり。見通しの良い環境づくりを。

4 “ずぼら”が命取り

洗濯物が出っぱなし、郵便物がたまっている、敷地内にごみが落ちていて汚い…など、犯人に「この家なら侵入してもばれない」と思わせないように。

5 費用0 効果絶大の「声掛け」活動

犯人は顔を見られたり、声を掛けられたりするのを嫌うもの。見知らぬ人を見掛けたら「こんにちは」とまずはあいさつ。防犯効果だけでなく、まちも明るくなって一石二鳥。

犯人が犯行をあきらめた理由

- 近所の人にじろじろ見られたり、声を掛けられたりしたから
- 犬がいたから
- 防犯カメラなどが付いていたから
- ドアに開けにくい鍵、あるいは窓に頑丈な面格子が付いていたから
- パトロール中の警察官に会ったから



▼問い合わせ

防災安全課防犯対策担当(内線283) または行田警察署 2553-0110